

ふくしのひろは

令和8年
(2026)
10月号
No.167



赤い羽根共同募金×社会福祉法人さつき会「^{ダイバー}Diver」 太宰府市で3つ目となる「寄付つき商品」が誕生しました!!

お知らせ

- ※ **特集** 赤い羽根共同募金2026
皆さまのご支援をいただき、共同募金は今年80周年 … P2～3
- ※ “太宰府市ボランティア市民活動団体一覧表”完成!! … P7
- ※ 高校や大学、専門学校などへの進学費用にお困りの方へ
教育支援資金のご案内 …………… P7
- ※ 保育所太宰府園正規職員(保育士)募集 …………… P7
- ※ 社協福祉まつり 出会いの広場2026 開催! …………… P8

ひろがれ! 地域の輪

- ※ 筑紫女学園大学想い出カフェ in 秋山区 …………… P6

今月の表紙

ダイバー 「Diver」の寄付つき商品 販売スタート

社会福祉法人さつき会が運営する就労継続支援B型事業所「Diver」。

この度、「Diver」が販売する「スペシャルティコーヒー」が新たな寄付つき商品として仲間入りしました!

売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付され、太宰府市内の地域福祉活動に役立てられます。
(詳細は3ページをご覧ください)

トピックス

赤い羽根共同募金2026

皆さまの温かいご支援をいただき、赤い羽根共同募金は今年80回目を迎えます。

赤い羽根共同募金とは？

私たちの地域の福祉活動や大規模災害時のボランティア活動などに活用されています!!!



- ❁ 10月1日～12月31日の3か月間、全国一斉に行われます。
 - ❁ 太宰府市で集まった寄付金のうち約75%が太宰府市内の福祉活動に、残りの約25%が福岡県内の福祉活動や災害時などに活用されています。
 - ❁ 地域のつながりづくりをはじめ高齢者や障がいのある方、子どもやその親など助けを必要としている人たちのために役立てられます。
 - ❁ 災害時には、「災害ボランティアセンター」の運営にも役立てられます。
- ※詳しくは折り込みチラシをご覧ください。

令和8年度 太宰府市目標額 **14,796,096円**

いろいろな協力方法があります！

赤い羽根共同募金は、各家庭にお願いする戸別募金のほか、街頭募金、募金箱、募金グッズや寄付つき商品など様々な方法でご協力いただけます。



詳しくはこちら

街頭募金も実施します

共同募金運動のスタートに合わせ、共同募金を広く知っていただくため、本年度も駅前や店頭などで街頭募金を実施します。

お見かけの際は、ぜひお気軽にご協力ください。

10月1日(木) 7:30～8:30

西鉄太宰府駅
西鉄五条駅
西鉄都府楼前駅

10月1日(木) 11:00～12:00

レガネット太宰府店

10月2日(金) 11:00～12:00

ルミエール太宰府店
明治屋ジャンボ市太宰府店

10月5日(月) 11:00～12:00

太宰府天満宮参道

※悪天候などにより中止になる場合があります。

赤い羽根共同募金×社会福祉法人さつき会「Diver」 寄付つき商品のご紹介

全国で流通しているコーヒー豆の上位5%に位置する「スペシャルティコーヒー」のみを使用したダイバーブレンドやドリップパック。

売上の一部が赤い羽根共同募金に寄付され、太宰府市内の地域福祉活動に役立てられます！
就労継続支援B型事業所「Diver」はもちろん社協窓口や注文販売でもお買い求めいただけます。



ダイバーブレンド（コーヒー豆）

100 g 1,100 円
200 g 1,850 円



ドリップパック

1 袋 200 円
5 袋セット 900 円
10 袋セット 1,800 円



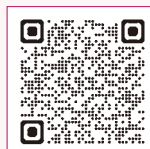
テイクアウト

ICE / HOT

各 400 円

※「Diver」での販売日のみ

社会福祉法人さつき会「Diver」に
詳しい詳細はこちら



ホームページ



社会福祉法人さつき会 理事長 上田 大地さんからのメッセージ

太宰府市社会福祉協議会様との連携により、「寄付つき商品」のご案内ができることを大変嬉しく思います。令和8年4月に開所したばかりの就労継続支援B型事業所「Diver」で生まれる商品が地域へ還元され、障がいの有無に関わらず、誰もが自分らしくいきいきと暮らせる「地域共生社会」をつなぐ温かい架け橋となることを願っております。

今後は、事業所での定期販売、イベント出店も積極的に行っていく予定です。皆さまのあたたかい応援をよろしくお願いいたします。



8月5日に調印式を行いました。

木村支会長(左)と上田理事長(右)

「寄付つき商品」とは??

企業や店舗などの商品やサービスを「寄付つき商品」として地域住民が購入・利用すると
に売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付される取り組みです。



寄付つき商品
(募金百貨店プロジェクト)
詳しくはこちら



お問い合わせ：福岡県共同募金会太宰府市支会(太宰府市社会福祉協議会) TEL:923-3230 FAX:923-0578



6月17日
(水)

保育所太宰府園 泥んこ遊び

保育所太宰府園では、観世音寺区はらのの原野さんの田んぼをお借りして泥んこ遊びを行いました。

最初は田んぼに入るのをためらっていた子も、お友だちと手をつないで入れば百人力！ぬるぬる・ぐちゃぐちゃの泥の感触にもすぐに慣れ、みんなで綱引きや旗取り競争など全身を使い、思い切り楽しみました。

これからも自然に触れながら五感を刺激する保育を行っていきます。



6月29日
(月)

児童福祉講演会

筑紫女学園大学おおにし りょうの大西 良さん、太宰府市教育支援センターの村上 伸一さんむらかみ しんいちと花田 文さんはなだ あやかを講師に迎え、「こどもが選べる居場所」をテーマに講演会を開催しました。

大西さんからは、不登校児童生徒の居場所づくり事業「キャンパススマイル」や「まちの保健室」、「警固公園での夜回り活動」など、子どもや若者を支える県内の取り組みが紹介されました。また、家庭や学校だけでなく地域の大人とのつながりが大切で、子どもの自己肯定感や逆境を乗り越える力(レジリエンス)を育むことにつながると話されました。

続いて、太宰府市教育支援センターのお二人から、不登校児童生徒を支援する「つばさ学級」や仮想空間(メタバース)で授業を視聴したり、他者と交流したりできる「とびゆめキャンパス」の取り組みについて紹介があり、子どもたちの新たな学びや交流の場として活用されている様子が紹介されました。



7月26日
(日)

ガイドボランティア体験会

歩行訓練士の西村 亜希子さんにしむら あきこ、筑紫野市視覚障害者ガイドボランティア「みちしるべ」の荒木 祐輔さんあらき ゆうすけを講師に迎え、視覚障がいのある方の外出支援について学びました。手引き体験では、特別な技術よりも“ちょっとした気づき”や“声かけ”が大切であることを実感しました。

参加者からは、「声かけの大切さに気づき、見えないことへの不安やガイドの安心感を知ったことで、これからはできる範囲で声をかけてみようと思った」という感想が寄せられました。今後も安心して外出できる地域づくりをみんなで考えていきます。



7月29日(水)
8月6日(木)

ボランティア体験会

傾聴・手話・音訳・点訳のボランティア団体を講師に迎え、10代から80代までの延べ39名が、それぞれの活動を体験しました。

この体験会は「ボランティアってどんなことをしているの」という声に応えるため、ボランティア団体が日頃取り組んでいる活動を実際に体験できる機会として設けました。

当日は、参加者が真剣に取り組む一方で、ボランティアとの会話も楽しむ様子が見られ、会場は笑顔に包まれていました。

参加者からは「ボランティア活動してみようと思った」「将来の仕事にも生かしたい」という声が、ボランティア団体からは「若い世代をはじめ、幅広い層に関心を持ってもらう良い機会になった」という声が聞かれました。

今後も、ボランティア活動の輪を広げる取り組みを続けていきます。



点訳の様子

7月31日
(金)

日本経済大学 災害ボランティアセンター演習

日本経済大学の授業の一環として、災害ボランティアセンター（以下、災害ボラセン）の模擬演習を行いました。

当日は、福岡県社協と太宰府市社協の職員が講師を務め、大学生約50名に対し、災害ボラセンの役割や、社協が設置・運営する理由などを説明しました。

また、学生がボランティア役となり、二次元コードを活用した受付やオリエンテーション、活動先とのマッチングなど、災害ボラセンの一日の流れを体験しました。

災害ボラセンは、近年、社協だけでなく、行政やNPO、企業、大学など、さまざまな機関・団体が連携して運営する「協働型」が主流となっています。学園都市である太宰府市においても、大学は重要な連携先の一つです。

災害時に円滑な連携・協力ができるよう、今後も平時から顔の見える関係づくりを進めていきます。

8月3日
(月)

小地域福祉活動実践者交流研修会

太宰府市消費生活センターから、消費生活相談員の嶋田 敦子^{しまだ あつこ}さんを講師に迎え、地域のサロン関係者を対象に「消費者被害の予防と対処法」をテーマに研修を行いました。

近年、多種多様な手口による消費者被害が増加している中、太宰府市で実際に発生した事例をもとに、悪質な業者による訪問販売を再現した動画などを通して、被害にあわないためのポイントや、被害にあった場合の具体的な対処法について学びました。

参加者からは、「自分自身のためになる内容だった。また、地域の多くの方へ情報を伝えていくことの大切さを学ぶことができた。」という感想が寄せられ、有意義な研修会となりました。



筑紫女学園大学思い出カフェ

毎週脳トレを行っている「秋山区おーい元気会」で開催された、筑紫女学園大学の学生による「思い出カフェ」の様子をご紹介します。

「思い出カフェ」は、地域回想法を通して脳の活性化や心理的な安定を図るとともに、「人や地域との絆を育む」ことを目的に、筑紫女学園大学(博物館学芸員課程)の学生が中心となって地域の公民館へ出向き、取り組んでいる活動です。

地域回想法とは、高齢者が昔のできごとや体験を思い出し、参加者どうして語り合うことで、記憶を引き出し、脳の活性化や心理的な安定につなげる手法です。

シーン1 布の中身は何だろう？



学生さんが「声に出したらだめですよ～」と声掛けた直後に思わず答えが口からこぼれ、大笑い。

シーン2 正解はお手玉でした！



「中身は何が入っているのかな？軽いね。」
「柔らかいビーズが入っているみたい」
「昔のお手玉ではないね」

シーン3 懐かしい遊び道具で思い出話



高齢者の声

- 物が少なかった時代、山で拾った木などを使って遊び道具を手作りしたよ。お手玉やゴム跳び、コマやメンコ!みんな仲良く遊んでいたよ。
- 地域みんなが子どもたちを知っていて、ケンカをしたり怒られたりしながらも、助け合って暮らしていた、温かい時代だったね。



学生の声

地域回想法を通して、昔の暮らしや文化について教えていただき、新しい発見がたくさんありました。普段は聞けない貴重なお話や昔の家庭料理に触れることができ、楽しく学ぶことができました。

取材を終えて



学生が昔の道具や写真などを用いながら参加者の思い出を引き出し、会場は笑顔と会話があふれる和やかな雰囲気に包まれました。昔を懐かしく思った参加者の方が「お手玉の材料(ジュズダマ)を学生さんに見せてあげたい。」と家に取りに帰る姿や、「昔のおやつを大学生にも食べさせてあげたい」と調理したワラビを持ってくる姿が印象的でした。また、幼い時代の情景を皆さんが共有し会話が発展する場面は大変興味深く、大学生と世代を超えた交流が生まれ、地域のつながりを深める貴重な時間となりました。

地域の支え合い情報を募集しています!

生活支援コーディネーター 宮崎 みやざき



寄付のお礼

令和8年5月21日
～令和8年8月31日

一般寄付

寄付者名 榊 恵美子 様
行政 区 五条台区
寄付者名 太宰府子ども劇場 様
行政 区 榎寺区
寄付者名 有限会社 筑紫葬祭 様
行政 区 筑紫野市

物品寄付

寄付者名 筑紫遊技場組合
つかさ筑紫野店 様
行政 区 筑紫野市

賛助会員へのご加入ありがとうございます。

特別賛助会員(10,000円以上)にご加入いただいた方をご紹介します。

令和8年5月21日 ～ 令和8年8月31日

- 株式会社 クラフティア 様
- 太宰府市長寿クラブ連合会 様
- 手芸ボランティア あいの会 様
- 社会福祉法人 梅香福祉会 様
- 社会福祉法人 福岡県盲人協会 福岡光明園 様
- 太宰府パルたんぼの会 様
- 桜町区自治会 様
- 大谷 江美子 様
- 野中 幸代 様
- 山野 佳津子 様

(順不同)

ご支援ありがとうございます。
随時受付しておりますので、ご協力よろしくお願いします。

保育所太宰府園正規職員(保育士)募集

受験資格

- ①令和9年4月1日時点において、35歳未満の方(職務経験不問)
- ②保育士資格を取得または採用時までに取得見込みの方

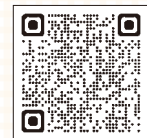
詳しくはホームページを
ご覧ください。

受付方法

随時電話受付

問い合わせ

保育所太宰府園 TEL:922-4611(担当:山野)
※9:00～17:00(日曜、祝日は除く)
※受付後、日程調整を行い、面接を実施します。



令和7年度事業報告及び一般会計決算

社協ホームページ及び
社会福祉法人の財務諸表等
電子開示システムでご覧
ください。

社協
ホームページ



社会福祉法人の財務諸表
等電子開示システム



高校や大学、専門学校などへの進学費用にお困りの方へ 教育支援資金(生活福祉資金)のご案内

進学費用の捻出が困難な低所得世帯の学生を対象に、奨学金が支給されるまでのつなぎとして必要な費用を無利子で貸し付ける制度です。
一般的な奨学金の支給時期は入学後となります。入学前に必要な校納金に備え、お早めにご相談ください。

資金種類

就学支度費(入学時にかかる一時金)
50万円以内
教育支援費(毎月の授業料相当額)
月3.5万～6.5万円(進学先の種別による)



償還

卒業の6か月後から20年以内に返済(月額1万円程度)

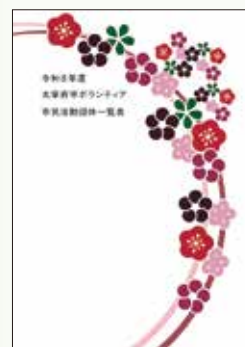
※教育ローンなどの他制度の利用が優先となります。

※ご相談は予約制です。まずはお電話にてお問い合わせください。
(申請から審査・決定、送金までに1か月以上を要する場合があります。)

お問い合わせ 太宰府市社会福祉協議会 生活支援係 TEL:923-3230

“太宰府市ボランティア 市民活動団体一覧表”完成!!

毎年、「太宰府市市民活動サポートセンター うめさろん」が作成し、社協の登録ボランティアも一部掲載されています。



詳細については
こちらを
ご覧ください





今月の ぴっくあっぷ

みんなのごはん



7月3日

坂本区ひまわり会
「ちらし寿司」



社協福祉まつり 出合いの広場2026 開催!

出合いの広場は、地域住民の皆さんに福祉団体の活動を知っていただき、福祉への興味・理解を広げてもらうための福祉のイベントです!

日時 11月14日(土)

11:00~14:00

雨天決行 入場無料

※例年の開催時間と異なりますので
ご注意ください。

会場 太宰府市体育センター
総合福祉センター

※上履きをご持参ください。

見どころ満載!ステージイベント

11:20~11:50 筑紫台高等学校吹奏楽部

12:05~12:25 Vocal unit foo(歌唱&ギター)

13:00~13:20 てみてる(ハープ&ギター)

13:35~14:00 太宰府まほろば衆(創作演舞)

※時間は前後する場合があります。



愛ちゃんもいるよ!



筑紫台高等学校 吹奏楽部

各種ブースも充実!福祉施設やボランティア団体による出店

グルメブース : 焼き鳥、ふかし芋、お弁当、豚まん、コーヒーなど
キッチンカーもやってくる!

物販ブース : 手作り品、日用品、赤い羽根寄付つき商品、パン、有機野菜など

体験ブース : 手話、点字、マッサージ、介護相談、リハビリ機器体験など

バルーンアートの配布や、来場者プレゼントもあります♪



アクセス

●「太宰府市役所前」バス停より徒歩3分

●西鉄「五条駅」より徒歩7分

※当日は総合福祉センター横駐車場は利用できません。臨時駐車場については社協ホームページをご確認ください。



ご利用ください!! 無料相談窓口

場所

太宰府市総合福祉センター

1階相談室(太宰府市白川2番10号)

予約お問い合わせ

太宰府市社会福祉協議会

TEL:923-3230

名称	日程	時間	内容	予約
あんしん相談	第3木曜日	13時~16時	成年後見制度に関する相談(相談時間60分)	要予約 (随時受付)
弁護士相談	第2火曜日	13時30分~15時30分	法律に関する相談(相談時間30分) ※初回相談に限ります。	要予約 (2週間前から受付)
	第4木曜日	10時~12時		
障がい者相談	第2木曜日	10時~12時	障がい者福祉に関する相談	不要

※弁護士相談以外はお電話での相談も可能です。 ※祝日・年末年始(12月28日~1月4日)は中止とさせていただきます。

発行

社会福祉法人 太宰府市社会福祉協議会

〒818-0102 福岡県太宰府市白川2番10号

TEL:092-923-3230 FAX:092-923-0578

配信

ホームページもご覧ください

太宰府市社会福祉協議会

検索

右のQRコードからも、太宰府市社協の
ホームページへ簡単にアクセスできます!

スマート
フォンから
見やすく
なりました



この広報紙は共同募金の配分金及び賛助会費等で作成されています。(赤い羽根は共同募金運動・配分事業のシンボルマークです。)